



書評

[評者]

益崎 裕章

琉球大学大学院教授・内分泌
代謝・血液・膠原病内科学

誰も教えてくれなかった 糖尿病患者の感染症診療

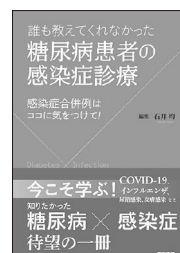
感染症合併例はココに気をつけて！

石井 均 編

●A5 頁192 2021年1月

定価：3,740円（本体3,400円＋税）

[ISBN978-4-260-04351-9] 医学書院刊



COVID-19 パンデミックは日常生活の在り方を根本から大きく変え、あっという間にリモートワーク・オンライン・マスク着用・自粛生活が当たり前の風景になった。糖尿病診療においては制約の多い生活下、いかに上手に血糖コントロールを保ち、運動不足や食べ過ぎに陥らないようにできるか、新たな工夫や知恵が求められている。特に、COVID-19 重症化要因として糖尿病に伴う血管障害がクローズアップされ、改めて感染症の底知れぬ脅威と重要性をすべての医療人が再認識することにもなった。

新常态の時代に同期して、奈良医科大学医師・患者関係学講座 石井 均教授の編集による渾身の一作、『誰も教えてくれなかった糖尿病患者の感染症診療—感染症合併例はココに気をつけて！』が上梓された。母教室、京大第二内科の大先輩である石井先生をはじめ執筆陣の多くに日頃から私自身のご指導いただいている先生方が参画され、紙面のすみずみまで「実践的・アップデート・医療人と患者さんへの温かな眼差し」という3点が徹底されており、深い感銘

を受けた。

通読してみると、わかっているつもりで実は正しく理解できていなかった点やこの数年の感染症診療の進歩に驚かされる点が少なくなかった。あらゆる記述は医師のみならず、多職種の医療関係者、医学生・保健学科生が読んでも十分にわかりやすく明快であり、理解を助ける図表にも巧みな趣向が凝らされている。あとがきで石井先生がお書きになっているとおり、糖尿病患者の感染症予防・診断・治療の各ステップにおいてきめ細やかな観察・会話・腑に落ちる丁寧な説明・適切でわかりやすい情報提供に代表される「良好な医師-患者関係」が治療アウトカムに大きく影響することを実感できる。

尊敬してやまない石井先生の最新刊の書評を書かせていただけることは光栄の極みである。専門医、非専門医を問わず、糖尿病診療・感染症診療に携わるあらゆる分野の医師・あらゆる職域の医療人の皆さまの愛読書として長く活用していただきたいと願い、この快著を強く推薦する次第である。